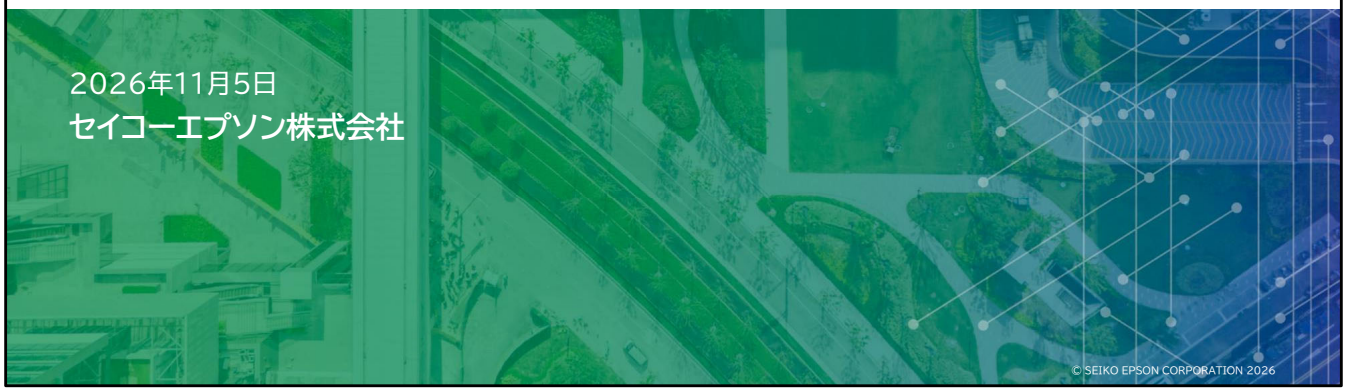
2026年度(2027年3月期)
第2四半期 決算説明会



2026年11月5日

セイコーエプソン株式会社

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

ご説明のポイント

EPSON

2026年度第2四半期

- 需要環境は堅調に推移、為替のプラス影響もありプレシジョンイノベーションを中心に各セグメントで前年同期から**増収**
- 事業利益は、部材費・原油価格の高騰影響を受ける中で、価格対応や関税還付により**増益**

2026年度通期業績予想

- **売上収益15,100億円、事業利益1,050億円で予想据え置き。当期利益は720億円に上方修正**
- 足元の状況を踏まえプレシジョンイノベーションの販売計画を上方修正
- オフィス・ホームプリンティングは、需要は堅調であるものの、一部の電子部品や基板などの調達が難しくなる中で本体販売台数を引き下げ
- 部材費・原油価格の高騰影響を追加で織り込む。価格対応も進めるが通期ではコスト増影響が残る
- グローバルオペレーション改革の一環として海外工場売却益を見込み、当期利益を上方修正

株主還元

- 配当は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円を予想
- 300億円を上限とする自己株式取得は9月末時点で約26%(金額ベース)まで進行

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 本日のご説明のポイントです。

- 第2四半期は、需要環境は堅調に推移し、為替のプラス影響もあったことでプレシジョンイノベーションを中心に各セグメントで前年同期から増収となりました。
- 事業利益は、部材費・原油価格の高騰影響を受ける中で、価格対応や関税還付により増益となりました。

- 通期予想は、売上収益1兆5,100億円、事業利益1,050億円で前回予想を据え置きます。
- 足元の状況を踏まえ、プレシジョンイノベーションを中心に販売計画を上方修正します。
- 一方で、オフィス・ホームプリンティングは、需要は堅調であるものの、一部の電子部品や基板などの調達が難しくなる中で本体販売台数を引き下げます。
- また、部材費・原油価格の高騰影響を追加で織り込みます。価格対応も進めていきますが、タイムラグが発生するため通期ではコスト増影響が残ります。

- 当期利益は、グローバルオペレーション改革の一環として海外工場売却益を見込み、720億円に上方修正します。

- 株主還元は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円を予想します。
- また、今年度は300億円を上限とする自己株式取得を実施しており、9月末時点では約26%まで進行しています。

2026年度 業績サマリー

EPSON

（億円）

		第2四半期			通期				
		2025年度 実績	2026年度 実績	対前年同期	2025年度 実績	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	対前期	対前回予想
プレシジョンイノベーション	売上収益	408	**511**	+25.4%	1,675	1,950	**2,030**	+21.2%	+4.1%
	セグメント利益	112	**168**	+49.8%	440	550	**610**	+38.6%	+10.9%
インダストリアル＆ロボティクス	売上収益	738	**829**	+12.4%	2,978	3,250	**3,270**	+9.8%	+0.6%
	セグメント利益	46	**140**	+203.9%	202	310	**300**	+48.5%	-3.2%
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,675	**1,715**	+2.4%	6,925	7,120	**7,000**	+1.1%	-1.7%
	セグメント利益	120	**191**	+59.6%	612	580	**540**	-11.8%	-6.9%
ビジュアル＆ライフスタイル	売上収益	632	**674**	+6.8%	2,509	2,710	**2,740**	+9.2%	+1.1%
	セグメント利益	57	**99**	+75.5%	169	220	**220**	+30.0%	-
連結合計	売上収益	3,465	**3,739**	+7.9%	14,133	15,100	**15,100**	+6.8%	-
	事業利益	177	**450**	+154.8%	838	1,050	**1,050**	+25.3%	-

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 第2四半期実績ならびに2026年度通期業績予想は、ご覧のとおりです。

EPSON

2026年度第2四半期実績

2026年度通期業績予想・株主還元

トピックス

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期実績｜ハイライト

EPSON

（億円）	2025年度 Q2実績	%	2026年度 Q2実績	%	対前年同期 増減額	増減率
売上収益	3,465		**3,739**		+274	+7.9%
事業利益	177	5.1%	**450**	**12.0%**	+274	+154.8%
営業利益	170	4.9%	**426**	**11.4%**	+256	+150.5%
税引前利益	179	5.2%	**415**	**11.1%**	+236	+132.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	121	3.5%	**317**	**8.5%**	+196	+162.8%
EPS[*1]（円）	37.62		**99.07**			
為替レート（円、指数） USD	¥147.43		**¥159.26**			
為替レート（円、指数） EUR	¥172.30		**¥183.29**			
為替レート（円、指数） その他通貨[*2]	-		**109**			

- 売上収益
  - ✓ 前四半期に引き続き、プレシジョンイノベーションを中心に販売を拡大
- 事業利益
  - ✓ 価格対応や米国関税還付により増益
- 営業利益以下
  - ✓ 当四半期中の円高進行に伴う為替差損を計上

為替影響額	USD	EUR	その他通貨	総計
売上収益	+101	+31	+106	+238
事業利益	-26	+20	+57	+52

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- それでは、第2四半期の実績をご説明します。

- 前年同期に対して、売上収益は274億円増収の3,739億円、事業利益は274億円増益の450億円となりました。

- 当四半期は、プレシジョンイノベーションを中心に販売を拡大し、増収となりました。
- 事業利益は、価格対応を進めたことや米国関税還付を計上したことなどにより増益となりました。

- 当四半期中の円高進行に伴う為替差損を計上したことなどから、営業利益は426億円、税引前利益は415億円、四半期利益は317億円となりました。

- 社内計画に対しては、為替のプラス影響もあり売上収益は計画並みとなりました。
- 事業利益は、プレシジョンイノベーションの販売が計画を上回ったことに加えて、オフィス・ホームプリンティングにおける部品の調達難に伴う販促費などの抑制により計画を上回りました。

- なお、米国関税還付は、前回予想に織り込んでおり、予定通り第2四半期に計上しています。

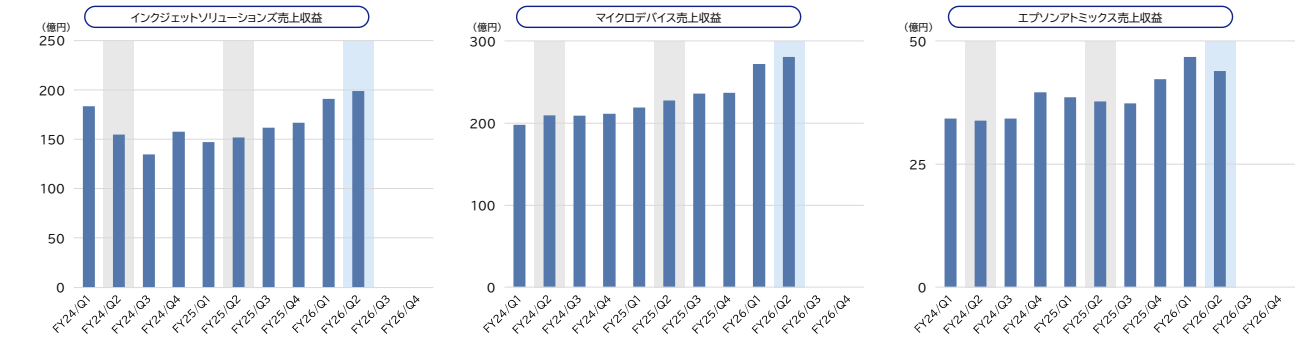
2026年度 第2四半期実績｜プレシジョンイノベーション

EPSON

（億円）

プレシジョンイノベーション	2025年度 Q2実績	2026年度 Q2実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	408	511	+104	+36	+25.4%
インクジェットソリューションズ	152	199	+47		+31.0%
マイクロデバイス	228	280	+53		+23.2%
エプソンアトミックス	38	44	+6		+16.2%
事業間売上収益	-9	-12	-		-
セグメント利益	112	168	+56	+25	+49.8%
セグメント利益率	27.6%	32.9%			

- プレシジョンイノベーションは、前年同期に対して増収増益
  - ✓ インクジェットソリューションズ：中国での案件獲得やその他の地域で販売が拡大
  - ✓ マイクロデバイス：水晶デバイスでネットワーク向けや産業向けを中心とした強い需要に対応
  - ✓ エプソンアトミックス：高機能金属粉末の販売が堅調



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- セグメント別にご説明します。
- プレシジョンイノベーションの売上収益は、前年同期に対して104億円増収の511億円となりました。

- インクジェットソリューションズは、中国での新たな用途向けの案件獲得に加えて、その他の地域でも販売が拡大しました。
- マイクロデバイスは、水晶デバイスでネットワーク向けや産業向けを中心とした強い需要に対応しました。
- エプソンアトミックスは、高機能金属粉末の販売が堅調に推移しました。

- これらの結果、セグメント利益は56億円増益の168億円となりました。

- 社内計画に対しては、売上収益・セグメント利益ともに上回りました。

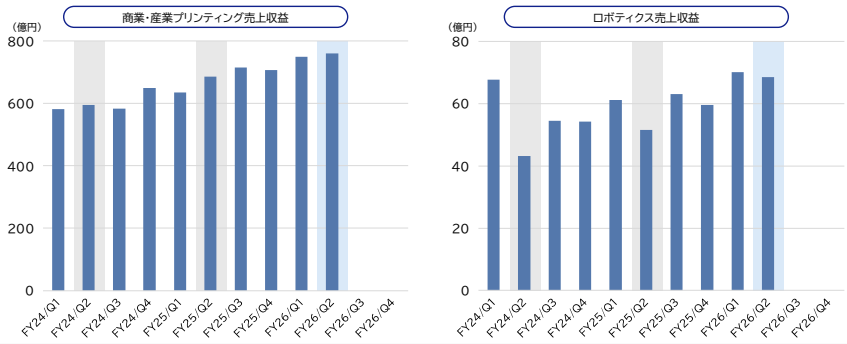
2026年度 第2四半期実績｜インダストリアル＆ロボティクス

EPSON

（億円）

インダストリアル＆ロボティクス	2025年度 Q2実績	2026年度 Q2実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	738	**829**	+92	+57	+12.4%
商業・産業プリンティング	686	**761**	+75		+10.9%
ロボティクス	52	**69**	+17		+33.0%
セグメント利益	46	**140**	+94	+17	+203.9%
セグメント利益率	6.2%	**16.8%**			

- インダストリアル＆ロボティクスは、前年同期に対して増収。増収効果に加え、米国関税還付により増益
  - ✓ 商業・産業プリンティング：フォト・ラベル・小型プリンターなどが販売好調
  - ✓ ロボティクス：中国やその他アジア圏を中心にAI関連の販売伸長



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- インダストリアル＆ロボティクスの売上収益は、前年同期に対して92億円増収の829億円となりました。
- 商業・産業プリンティングは、フォトやラベル、小型プリンターなどで販売が好調でした。
- ロボティクスは、中国やその他アジア圏を中心にAI関連の販売が伸長しました。
- セグメント利益は、増収効果に加えて米国関税還付により、94億円増益の140億円となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益・セグメント利益ともに計画並みとなりました。

2026年度 第2四半期実績｜オフィス・ホームプリンティング

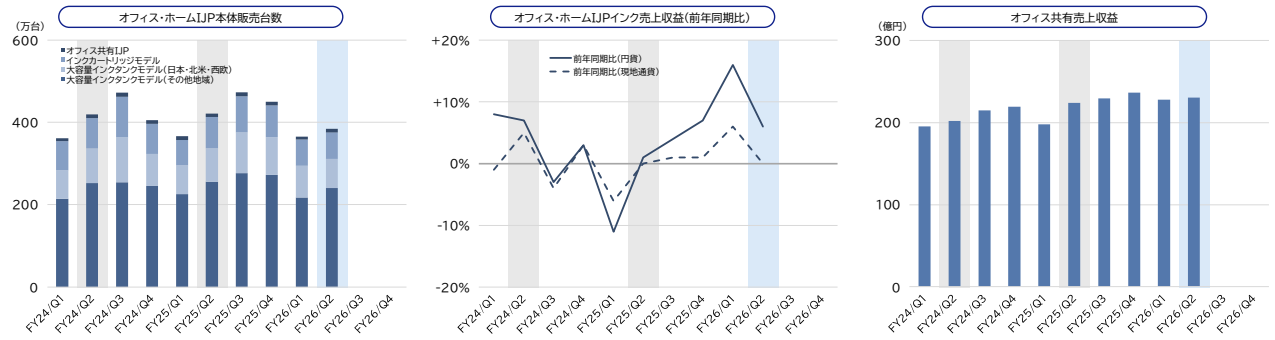
EPSON

（億円）

オフィス・ホームプリンティング	2025年度 Q2実績	2026年度 Q2実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	1,675	**1,715**	+40	+109	+2.4%
SOHO・ホーム*1	1,325	**1,352**	+27		+2.1%
オフィス共有*2	224	**230**	+6		+2.8%
オフィス・ホームその他*3	126	**133**	+6		+5.0%
セグメント利益	120	**191**	+71	+9	+59.6%
セグメント利益率	7.2%	**11.2%**			

- オフィス・ホームプリンティングは、部材調達難の影響を受け、本体販売台数が前年同期を下回った一方で、価格対応や為替のプラス影響により増収
- セグメント利益は、コスト増影響を受けたものの、米国関税還付により増益

*1 I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど　*2 オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LIJ本体、インクなど　*3 スキャナー、LP、小型ラベルプリンターなど



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- オフィス・ホームプリンティングの売上収益は、前年同期に対して40億円増収の1,715億円となりました。
- 本体販売台数は、部材調達難の影響を受けて前年同期を下回った一方で、価格対応や為替のプラス影響により増収となりました。
- セグメント利益は、コスト増の影響を受けたものの、米国関税還付により、71億円増益の191億円となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益は計画並みでした。
- セグメント利益は、部材調達難に対応し、販促費などの抑制により計画を上回りました。

2026年度 第2四半期実績｜ビジュアル＆ライフスタイル

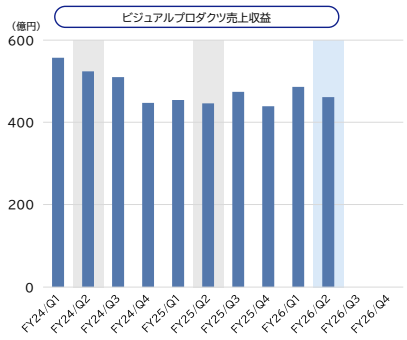
EPSON

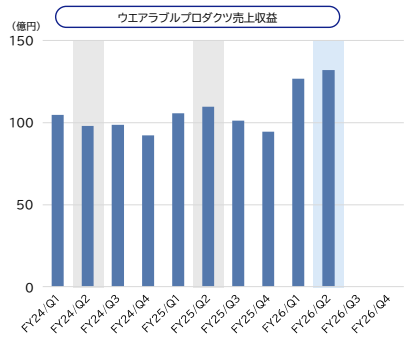
（億円）

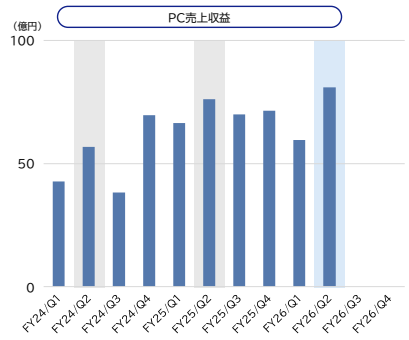
ビジュアル＆ライフスタイル	2025年度 Q2実績	2026年度 Q2実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	632	**674**	+43	+36	+6.8%
ビジュアルプロダクツ	446	**461**	+15		+3.5%
ウエアラブルプロダクツ	110	**132**	+22		+20.5%
PC	76	**81**	+5		+6.4%
セグメント利益	57	**99**	+43	+1	+75.5%
セグメント利益率	9.0%	**14.7%**			

＊プロジェクターの販売動向指標は補足資料に掲載

- ビジュアル＆ライフスタイルは、前年同期に対して増収。米国関税還付により増益
  - ✓ ビジュアルプロダクツ：販売台数は前年同期を下回ったもののミックス影響や為替のプラス影響などにより増収
  - ✓ ウエアラブルプロダクツ：国内・海外ともに引き続き好調
  - ✓ PC：販売台数は前年のOSサポート終了に伴う特需からの反動により減少した一方、販売価格が上昇







© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- ビジュアル＆ライフスタイルの売上収益は、前年同期に対して43億円増収の674億円となりました。

- ビジュアルプロダクツは、販売台数は前年を下回ったものの、ミックス影響や為替のプラス影響などにより増収となりました。
- ウエアラブルプロダクツは、国内・海外ともに販売が引き続き好調に推移しました。
- PCは、前年のOSサポート終了に伴う特需からの反動により販売台数が減少した一方、販売価格が上昇しました。

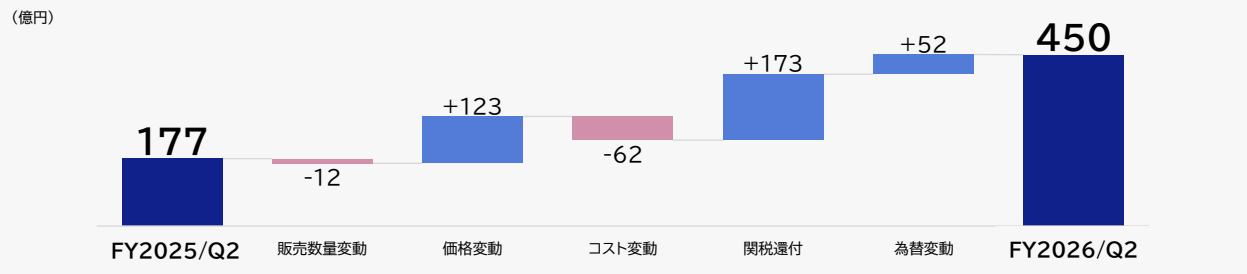
- セグメント利益は、米国関税還付により、43億円増益の99億円となりました。

- 社内計画に対しては、主にプロジェクターの販売未達により売上収益は計画を下回りました。
- セグメント利益は、費用抑制などもあり、計画並みとなりました。

EPSON

部材費・原油価格の高騰に対して価格対応を進める

- 販売数量　：　インクジェットソリューションズ・マイクロデバイスなどで増加の一方で、オフィス・ホームIJPで部材調達難の影響
- 価格　：　オフィス・ホームIJP、PC、ビジュアルプロダクツなどで価格対応の効果
- コスト変動　：　部材費・原油価格の高騰、在庫増減による利益プラス影響
- 米国関税還付　：　Phase2の還付を計上

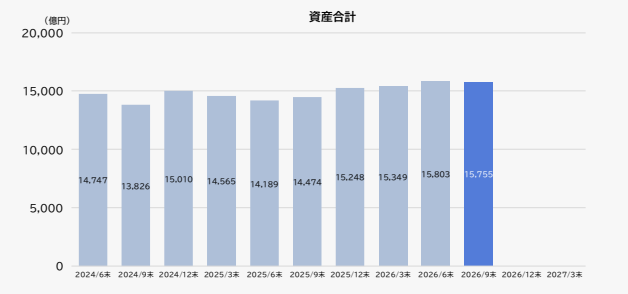


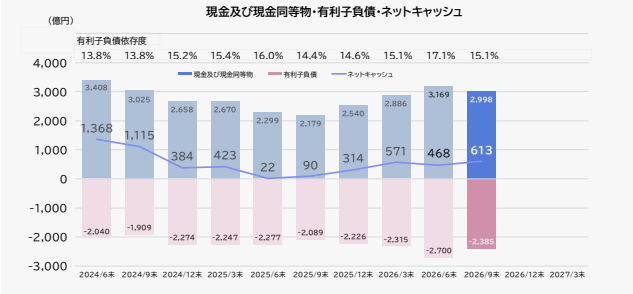
© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

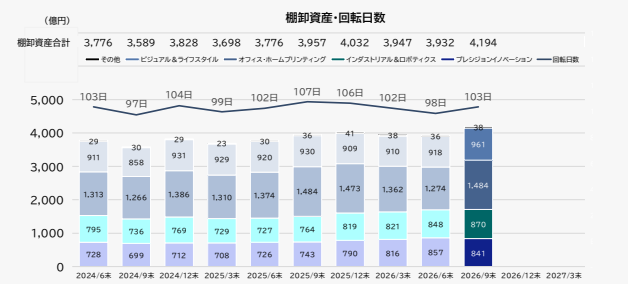
- 第2四半期の事業利益の変動要因をご説明します。
- 販売数量は、インクジェットソリューションズやマイクロデバイスなどで増加した一方で、オフィス・ホームIJPで部材調達難の影響を受けたため、前年同期並みとなりました。
- 価格は、オフィス・ホームIJPやPC、ビジュアルプロダクツなどで価格対応の効果があらわれ、プラスとなりました。
- コストは、部材費・原油価格の高騰影響を受けたものの、在庫増減による利益プラス影響がありました。
- これらに加えて、米国関税還付や為替影響もあり、増益となりました。

財政状態計算書主要項目

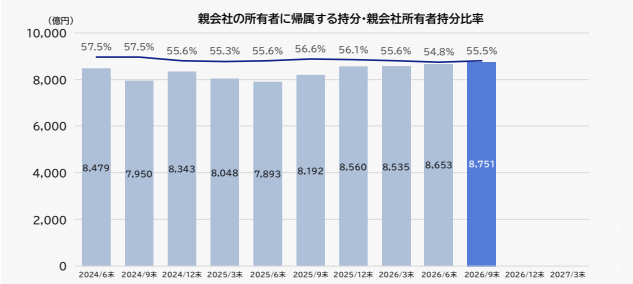
EPSON







*回転日数＝連結会計期間末棚卸資産残高／連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

➢ 財政状態計算書の主要項目はご覧の通りです。

EPSON

2026年度第2四半期実績

2026年度通期業績予想・株主還元

トピックス

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 通期業績予想｜ハイライト

EPSON

（億円）	2025年度 実績	%	2026年度 8/5予想	%	2026年度 11/5予想	%	増減額／増減率 対前期	増減額／増減率 対8/5予想
売上収益	14,133		15,100		**15,100**		+967 +6.8%	— —
事業利益	838	5.9%	1,050	7.0%	**1,050**	**7.0%**	+212 +25.3%	— —
営業利益	496	3.5%	1,010	6.7%	**1,030**	**6.8%**	+534 +107.8%	+20 +2.0%
税引前利益	500	3.5%	990	6.6%	**1,000**	**6.6%**	+500 +99.9%	+10 +1.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	182	1.3%	690	4.6%	**720**	**4.8%**	+538 +295.6%	+30 +4.3%
EPS[*1]（円）	56.81		215.34		**226.39**			
為替レート（円、指数） USD	¥150.69		¥156.00		**¥156.00**			
為替レート（円、指数） EUR	¥174.74		¥178.00		**¥179.00**			
為替レート（円、指数） その他通貨[*2]	-		104		**105**			

- 売上収益　据え置き
  - ✓ プレシジョンイノベーションで業績予想を上方修正
  - ✓ オフィス・ホームプリンティングは下方修正
- 事業利益　据え置き
  - ✓ 部材費・原油価格の高騰影響を一段と受けるものの、価格対応も追加実施
  - ✓ 為替影響額を見直し
- 営業利益以下
  - ✓ その他の営業収益に、グローバルオペレーション改革の一環として海外工場売却益を見込む

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示
*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

為替感応度[*3]	USD	EUR	その他通貨	年間為替影響額
売上収益	-32	-13	-50	+450
事業利益	+10	-9	-33	+170

第3四半期以降の為替前提（円）		
	USD	153.00
	EUR	174.00

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

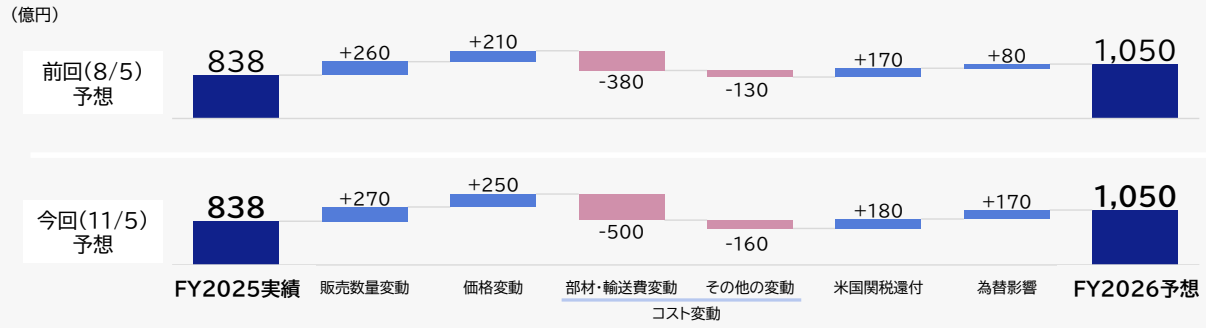
- 続きまして、2026年度の業績予想ならびに株主還元についてご説明します。
- 2026年度の通期業績予想はご覧の通りです。
- 売上収益と事業利益は、前回予想を据え置きます。
- 売上収益は、プレシジョンイノベーションで業績予想を上方修正します。
  オフィス・ホームプリンティングは下方修正し、全体で前回予想を据え置きます。
- 事業利益は、部材費・原油価格の高騰影響を一段と受けるものの、価格対応を追加で実施します。また、為替影響額を見直します。
- 営業利益以下は、その他の営業収益に、グローバルオペレーション改革の一環として海外工場売却益を見込みます。

2026年度 通期業績予想｜事業利益の増減要因

EPSON

前回予想からの主な変化

- 販売数量　：　オフィス・ホームIJPで部材調達難の影響を織り込むものの、インクジェットソリューションズ・マイクロデバイスなどで増加
- 価格　：　部材・輸送費のコスト増に価格対応を実施するものの、今年度の効果は限定的
- 部材・輸送費　：　部材費・原油価格の高騰に伴うコスト増を追加で織り込む
- 米国関税還付　：　新たに申請が可能となったPhase3の還付を織り込む
- 為替影響　：　為替レートの見直し、為替ボリュームを精査



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 事業利益の増減要因の、前回予想からの変化をご説明します。
- 販売数量は、オフィス・ホームIJPで部材調達難の影響を織り込みましたが、インクジェットソリューションズ・マイクロデバイスなどで増加を見込みます。
- 価格は、部材・輸送費のコスト増に価格対応を実施するものの、タイムラグが発生するため今年度での効果は限定的となります。
- 部材・輸送費については、部材費・原油価格の高騰に伴うコスト増を追加で織り込みました。
- 米国関税還付は、新たに申請が可能となったPhase3の還付を織り込みました。
- 為替影響は、為替レートの見直し、および為替ボリュームを精査した結果、前回予想から90億円のプラス影響を見込みます。

2026年度 通期業績予想｜プレシジョンイノベーション

EPSON

（億円）

プレシジョンイノベーション	2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対8/5 予想
売上収益	1,675	1,950	**2,030**	+355	+21.2%	+80
インクジェットソリューションズ	628	740	**770**	+142	+22.7%	+30
マイクロデバイス	920	1,070	**1,120**	+200	+21.8%	+50
エプソンアトミックス	156	190	**190**	+34	+21.9%	-
事業間売上収益	-28	-50	**-50**	-	-	-
セグメント利益	440	550	**610**	+170	+38.6%	+60
セグメント利益率	26.3%	28.2%	**30.0%**			

- プレシジョンイノベーションは、引き続き堅調な需要を見込み、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正

  - ✓ インクジェットソリューションズ：中国やその他の地域で需要増を織り込む
  - ✓ マイクロデバイス：水晶デバイスは、ネットワーク向けや産業向けの需要が引き続き堅調
  - ✓ エプソンアトミックス：需要の見通しに大きな変化は無く、前回予想から変更なし

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 続いて、セグメント別にご説明します。
- プレシジョンイノベーションは、引き続き堅調な需要を見込み、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正します。

- インクジェットソリューションズは、中国やその他の地域で需要増を織り込みます。
- マイクロデバイスは、水晶デバイスのネットワーク向けや産業向けの需要が引き続き堅調に推移することを見込みます。
- エプソンアトミックスは、需要の見通しに大きな変化は無く、前回予想から変更ありません。

2026年度 通期業績予想｜インダストリアル＆ロボティクス

EPSON

（億円）

インダストリアル＆ロボティクス	2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対8/5 予想
売上収益	2,978	3,250	**3,270**	+292	+9.8%	+20
商業・産業プリンティング	2,743	2,960	**2,980**	+237	+8.6%	+20
ロボティクス	235	290	**290**	+55	+23.3%	-
セグメント利益	202	310	**300**	+98	+48.5%	-10
セグメント利益率	6.8%	9.5%	**9.2%**			

- インダストリアル＆ロボティクスは、需要の見通しに大きな変化はないが、コスト増の影響を反映し業績予想を見直し

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

➢ インダストリアル＆ロボティクスは、需要の見通しに大きな変化はないものの、コスト増の影響を反映し、業績予想を見直しました。

2026年度 通期業績予想｜オフィス・ホームプリンティング

EPSON

（億円）

オフィス・ホームプリンティング	2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対8/5 予想
売上収益	6,925	7,120	**7,000**	+75	+1.1%	-120
SOHO・ホーム*1	5,495	5,520	**5,420**	-75	-1.4%	-100
オフィス共有*2	888	1,080	**1,060**	+172	+19.4%	-20
オフィス・ホームその他*3	543	520	**520**	-23	-4.3%	-
セグメント利益	612	580	**540**	-72	-11.8%	-40
セグメント利益率	8.8%	8.1%	**7.7%**			

*1 I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど　*2 オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LIJ本体、インクなど　*3 スキャナー、LP、小型ラベルプリンターなど

SOHOホーム＆オフィス共有販売動向*4		2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想
本体販売台数	（約、万台）	1,710	1,720	**1,660**
内 大容量インクタンクモデル		1,370	1,410	**1,370**
内 インクカートリッジモデル		305	270	**250**
内 オフィス共有		35	40	**40**
インク売上収益伸長率	（円貨）	+0%	+1%	**+2%**
	（現地通貨）	-1%		

*4 社内管理値に基づく指標

- オフィス・ホームプリンティングは、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を下方修正
- 需要の見通しに大きな変化がない中で、世界的なAI関連需要増加を背景とした一部の電子部品・基板で供給がひっ迫し、調達難による生産影響やコスト増を織り込むが、部材確保に向けた取り組みや価格対応を進める
  - ✓ オフィス・ホームIJPの本体販売台数は前回予想から60万台引き下げる
  - ✓ インクの売上収益は前回予想から大きな変更なし

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- オフィス・ホームプリンティングは、需要の見通しに大きな変化がない中で、世界的なAI関連需要増加を背景とした一部の電子部品・基板での供給のひっ迫による生産影響のリスクを織り込み販売台数を下方修正することから、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を下方修正します。

- オフィス・ホームIJPの本体販売台数は、前回予想から60万台引き下げます。一方で、部材確保に向けた取引先への働きかけなど取り組みを進め、可能な限りの挽回を目指します。
- また、コスト増に対しては価格対応を進めることで収益への影響の最小化を図っていきます。

- インクの売上収益は前回予想から大きな変更なく、引き続き安定的な推移を見込みます。

2026年度 通期業績予想｜ビジュアル＆ライフスタイル

EPSON

（億円）

ビジュアル＆ライフスタイル	2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対8/5 予想
売上収益	2,509	2,710	**2,740**	+231	+9.2%	+30
ビジュアルプロダクツ	1,814	1,940	**1,940**	+126	+7.0%	-
ウエアラブルプロダクツ	411	470	**500**	+89	+21.7%	+30
PC	284	300	**300**	+16	+5.7%	-
セグメント利益	169	220	**220**	+51	+30.0%	-
セグメント利益率	6.7%	8.1%	**8.0%**			

プロジェクター販売動向*		2025年度 実績	2026年度 8/5 予想	2026年度 11/5 予想
本体販売台数	（約、万台）	130	130	**130**

＊社内管理値に基づく指標

- ビジュアル＆ライフスタイルの売上収益は、ウエアラブルプロダクツの需要増により、前回予想から上方修正
- セグメント利益は、ビジュアルプロダクツでのコスト増影響を受け、前回予想を据え置き

✓ ビジュアルプロダクツ：プロジェクターの販売台数は前回予想から変更なし
✓ ウエアラブルプロダクツ：需要増により上方修正
✓ PC：前回予想から変更なし

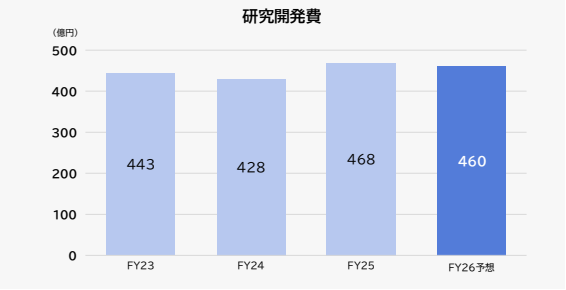
© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

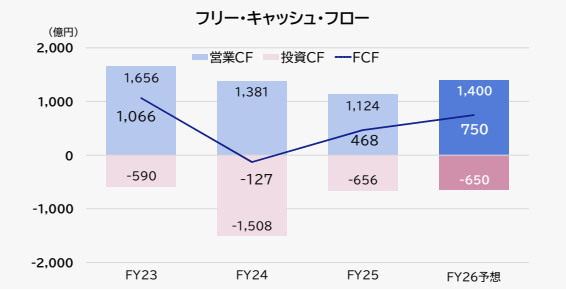
- ビジュアル＆ライフスタイルの売上収益は、ウエアラブルプロダクツの需要増により、前回予想から上方修正します。
- セグメント利益は、ビジュアルプロダクツの部材費高騰影響を受け、前回予想を据え置きます。

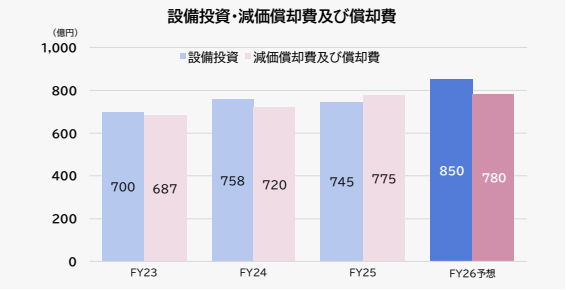
- ビジュアルプロダクツのプロジェクターの販売台数は、前回予想から変更ありません。
- ウエアラブルプロダクツは、需要増により上方修正します。
- PCは、前回予想から変更ありません。

2026年度 通期業績予想｜主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、経営指標

EPSON







主要経営指標

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2028年度 中期目標
為替レート:USD/円	144.44	152.47	150.69	156.00	150.00
為替レート:EUR/円	156.66	163.64	174.74	179.00	170.00
売上収益(億円)	13,140	13,629	14,133	15,100	15,000
事業利益(億円)	647	896	838	1,050	-
親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)	526	552	182	720	-
ROS *1	4.9%	6.6%	5.9%	7.0%	8.0%
ROA *2	4.7%	6.2%	5.6%	6.8%	-
ROE *3	6.8%	6.8%	2.2%	8.5%	10.0%
ROIC *4	4.6%	6.1%	5.5%	6.8%	8.0%

*1 売上収益事業利益率＝事業利益／売上収益
*2 資産合計事業利益率＝事業利益／期首・期末資産合計平均
*3 親会社所有者帰属持分当期利益率＝親会社の所有者に帰属する当期利益／期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
*4 投下資本利益率＝税引後事業利益／(親会社の所有者に帰属する持分＋有利子負債)
税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額(30%)を控除した金額
親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 主要費用、主要経営指標はご覧のとおりです。
- 研究開発費ならびに設備投資・減価償却費及び償却費は前回予想から変更ありません。
- フリー・キャッシュ・フローは、グローバルオペレーション改革の一環として海外工場の売却収入を見込むことから、前回予想の700億円から750億円へ変更します。

株主還元

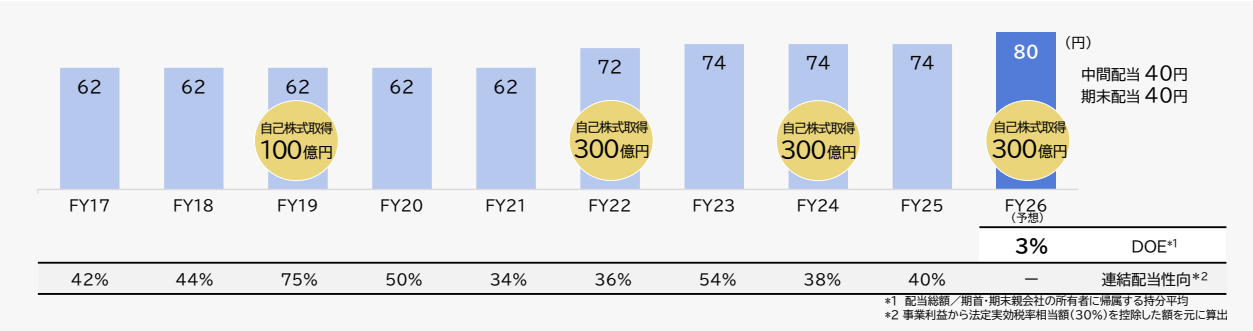
基本方針　成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む

- 配当　：DOE*1　3%を下限とする安定配当を実施
- 自己株式取得：株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、機動的に実施

配当　2026年度は6円増配、1株当たり年間配当 **80円**を予想

自己株式取得　2026年度に**300億円**を上限とする自己株式取得を実施中

- 取得期間：2026年8月7日～2027年3月31日
- 今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方針
- 2026年9月末現在、約26%取得済(金額ベース)



*1 配当総額／期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
*2 事業利益から法定実効税率相当額(30%)を控除した額を元に算出

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 株主還元についてご説明します。
- 2026年度の配当は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円を予想します。
- また、2026年度に300億円を上限とする自己株式取得は9月末現在で26%まで進捗しています。

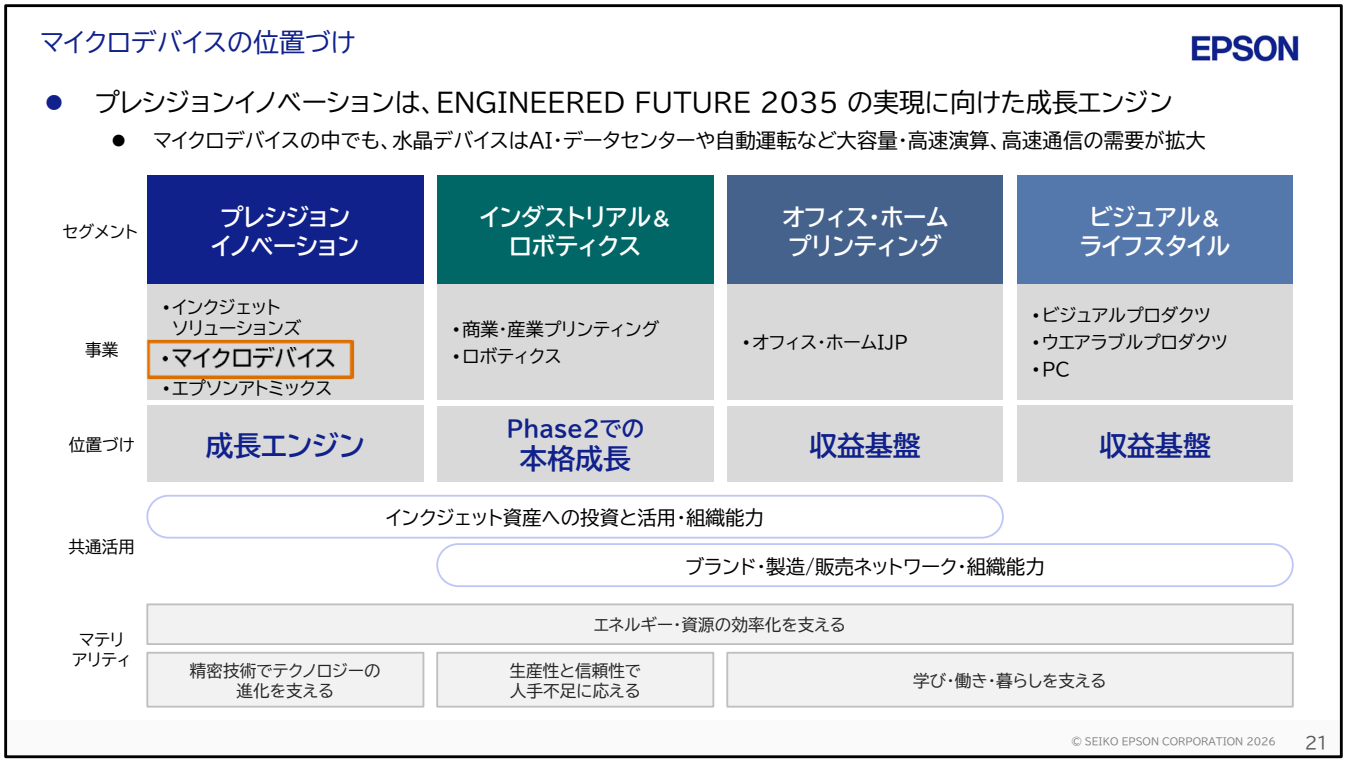
EPSON

2026年度第2四半期実績

2026年度通期業績予想・株主還元

トピックス

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026



- 最後に、皆さまのご関心が高いマイクロデバイスの概要をご説明します。
- プレシジョンイノベーションは、ENGINEERED FUTURE 2035 の実現に向けた成長エンジンとして位置づけています。
- マイクロデバイスの中でも、水晶デバイスは、AIやデータセンター・自動運転など、大容量・高速演算、高速通信を支える重要なデバイスです。

水晶デバイスの事業環境

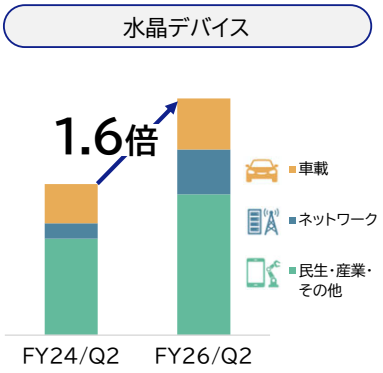
EPSON

- 市場ニーズに対応しながら、水晶デバイスと半導体の自社設計・製造や知的財産の強みを生かして成長

水晶デバイスの市場動向



売上収益の拡大



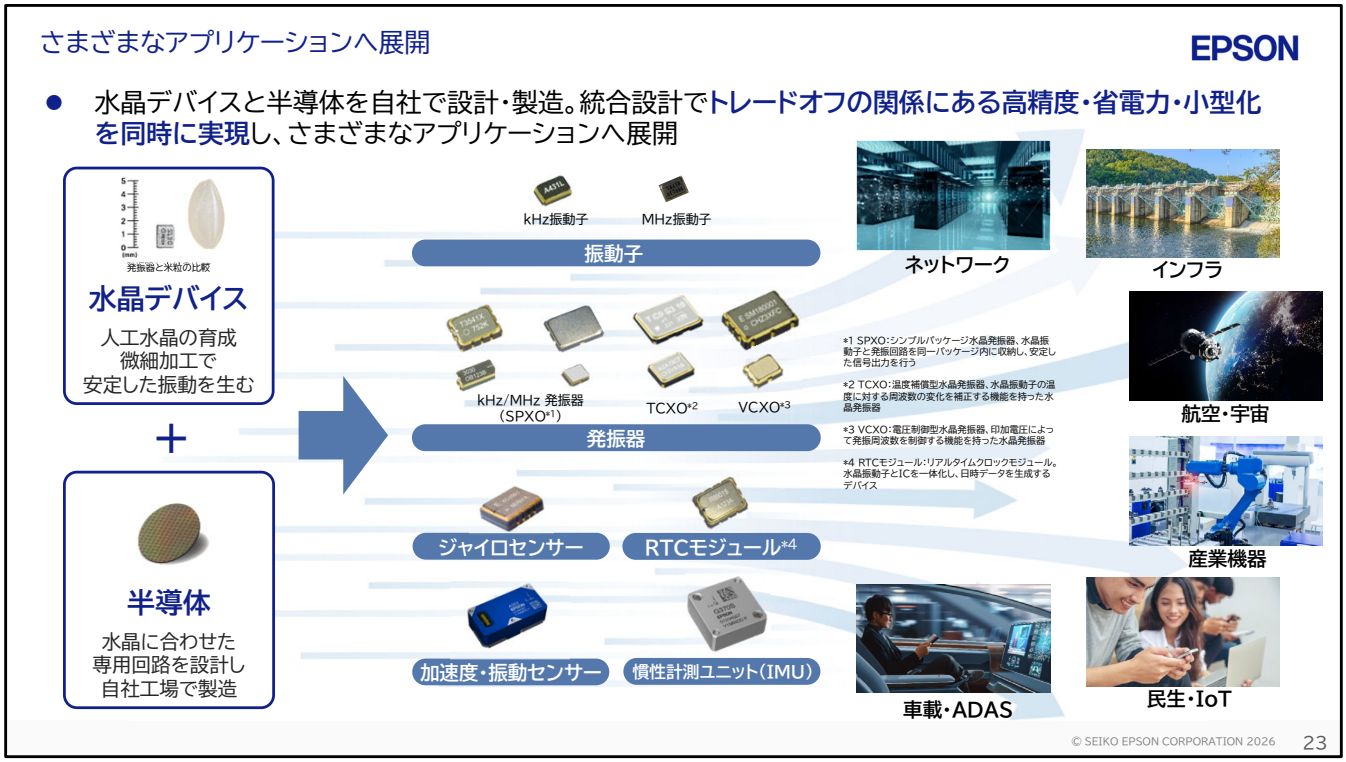
エプソンの強み

- ✓ 水晶デバイスと半導体を自社で設計・製造
- ✓ 知的財産
  - ✓ 2025年、日本および米国で水晶デバイス特許登録数1位*

*2025年(1/1~12/31)の特許登録件数ランキング(エプソン調べ)

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

- 水晶デバイスの市場では、車載や民生・産業向けに加え、データセンターを含むネットワーク向けの需要が拡大しています。
- このような市場ニーズに対応し、エプソンの水晶デバイスの売上収益は、2024年度第2四半期から2026年度第2四半期にかけて、1.6倍に拡大しました。
- さまざまなデバイスメーカーがありますが、エプソンの強みは、水晶デバイスと半導体を自社で設計・製造している数少ないメーカーであることです。
- また、関連する知的財産も多く有しており、これらの強みを生かしながら、市場ニーズに応える製品を提供しています。



- こうした強みを生かし、エプソンの水晶デバイスは、統合設計により一般的にはトレードオフの関係にある高精度、省電力、小型化を同時に実現することが可能です。

- 振動子や発振器といったタイミングデバイスだけでなく、慣性計測ユニットや加速度センサーといった幅広いラインアップを、ネットワークやインフラ、航空・宇宙などのさまざまなアプリケーションへ展開していきます。



- ここで、AI・データセンターに向けた水晶デバイスの提供価値を紹介します。
- 左から順番に説明します。
- 近年、AIの普及によりデータセンターで扱うデータ量が急増し、通信にはさらなる高速化・大容量化と省電力化が求められます。
- 通信は電気通信から光通信への移行が進み、そのためには、電気通信と光通信を相互に変換する光トランシーバーが必要となります。
- 水晶デバイスは、光トランシーバーの中にあるDSPに基準クロックを提供します。基準クロックは、より高い周波数と、信号の時間的なゆらぎであるジッターの低減が求められます。
- エプソンは、水晶デバイスと半導体の統合設計で、お客様のニーズに短納期で対応しながら、高周波・低ジッター・省電力・小型という4つの性能のトレードオフを解決します。
- 今後も、このような技術を社会に実装していくことで、ENGINEERED FUTURE 2035の実現につなげていきます。


EPSON

EPSON

補足資料

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期累計実績｜ハイライト

EPSON

（億円）		2025年度 Q2累計実績	%	2026年度 Q2累計実績	%	対前年同期 増減額	増減率
売上収益		6,674		**7,411**		+738	+11.1%
事業利益		374	5.6%	**672**	**9.1%**	+297	+79.4%
営業利益		311	4.7%	**632**	**8.5%**	+321	+102.9%
税引前利益		308	4.6%	**622**	**8.4%**	+314	+102.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益		187	2.8%	**447**	**6.0%**	+260	+139.3%
EPS[*1]（円）		58.26		**139.52**			
為替レート（円、指数）	USD	¥145.96		**¥159.32**			
	EUR	¥168.03		**¥184.31**			
	その他通貨[*2]	-		**111**			

為替影響額	USD	EUR	その他通貨	総計
売上収益	+222	+95	+248	+565
事業利益	-49	+61	+132	+144

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期累計実績｜プレシジョンイノベーション

EPSON

（億円）

プレシジョンイノベーション	2025年度 Q2累計実績	2026年度 Q2累計実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	811	**1,009**	+198	+76	+24.4%
インクジェットソリューションズ	299	**390**	+91		+30.4%
マイクロデバイス	447	**552**	+106		+23.7%
エプソンアトミックス	76	**91**	+14		+18.8%
事業間売上収益	-11	**-24**	-		-
セグメント利益	208	**324**	+115	+50	+55.5%
セグメント利益率	25.7%	**32.1%**			

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期累計実績｜インダストリアル＆ロボティクス

EPSON

（億円）

インダストリアル＆ロボティクス	2025年度 Q2累計実績	2026年度 Q2累計実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	1,433	**1,649**	+216	+138	+15.1%
商業・産業プリンティング	1,321	**1,511**	+190		+14.4%
ロボティクス	113	**139**	+26		+23.1%
セグメント利益	84	**194**	+110	+43	+131.7%
セグメント利益率	5.9%	**11.8%**			

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期累計実績｜オフィス・ホームプリンティング

EPSON

（億円）

オフィス・ホームプリンティング	2025年度 Q2累計実績	2026年度 Q2累計実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	3,163	**3,385**	+222	+262	+7.0%
SOHO・ホーム[*1]	2,487	**2,668**	+181		+7.3%
オフィス共有[*2]	422	**458**	+36		+8.5%
オフィス・ホームその他[*3]	254	**259**	+5		+1.9%
セグメント利益	266	**306**	+40	+46	+14.9%
セグメント利益率	8.4%	**9.0%**			

*1 I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど　*2 オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LIJ本体、インクなど　*3 スキャナー、LP、小型ラベルプリンターなど

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期累計実績｜ビジュアル＆ライフスタイル

EPSON

（億円）

ビジュアル＆ライフスタイル	2025年度 Q2累計実績	2026年度 Q2累計実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	1,258	**1,346**	+88	+89	+7.0%
ビジュアルプロダクツ	900	**947**	+47		+5.2%
ウエアラブルプロダクツ	215	**259**	+44		+20.2%
PC	143	**141**	-2		-1.4%
セグメント利益	117	**141**	+25	+5	+21.1%
セグメント利益率	9.3%	**10.5%**			

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

主要製品の販売動向

EPSON

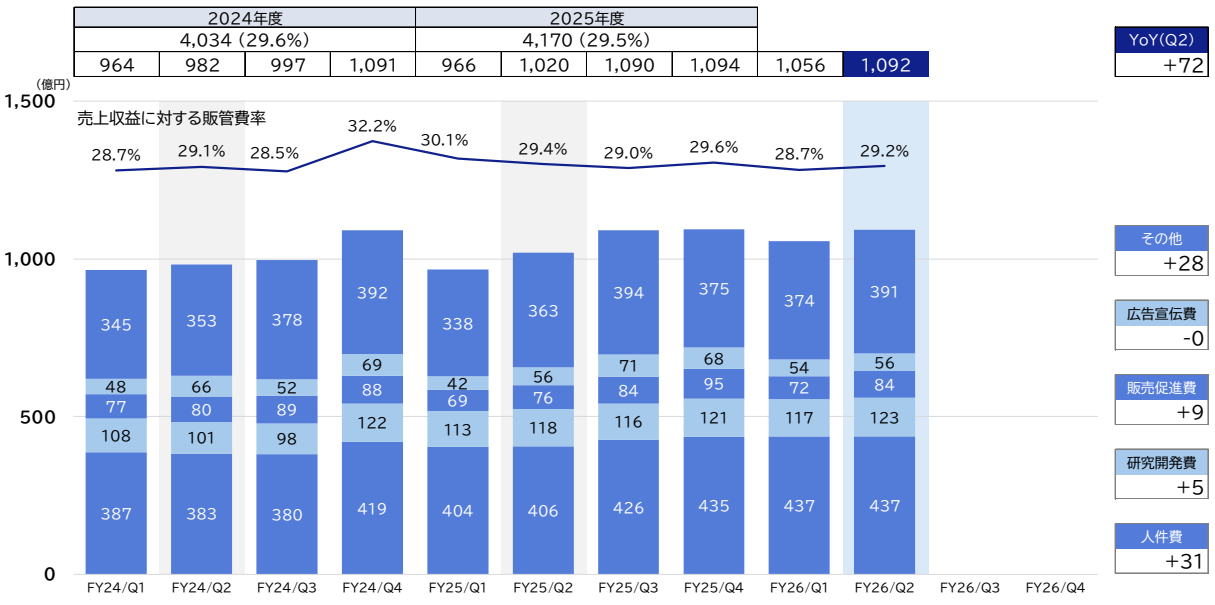
社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比		2025年度 Q1 実績	2025年度 Q2 実績	2025年度 Q3 実績	2025年度 Q4 実績	2025年度 通期 実績	2026年度 Q1 実績	2026年度 Q2 実績	2026年度 Q3	2026年度 Q4	2026年度 通期 予想
為替レート	USD	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69	159.38	159.26			156.00
	EUR	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74	185.33	183.29			179.00
SOHO・ホーム＆オフィス共有本体売上収益	伸長率(円貨)	-4%	+2%	+4%	+16%	+5%	+12%	+0%			+1%
	伸長率(現地通貨)	+3%	+2%	+0%	+9%	+4%	+1%	-7%			
SOHO・ホーム＆オフィス共有本体販売台数(合計)	伸長率	+1%	+1%	+0%	+11%	+3%	-0%	-9%			-3%
	約、万台					1,710					1,660
SOHO・ホーム向け大容量インクタンクモデル	約、万台					1,370					1,370
SOHO・ホーム向けI/Cモデル	約、万台					305					250
オフィス共有	約、万台					35					40
SOHO・ホーム＆オフィス共有インク売上収益	インク比率*					36%					37%
	伸長率(円貨)	-11%	+1%	+4%	+7%	+0%	+16%	+6%			+2%
	伸長率(現地通貨)	-6%	+0%	+1%	+1%	-1%	+6%	-0%			
プロジェクター本体売上収益	伸長率(円貨)	-18%	-15%	-7%	-2%	-11%	+7%	+4%			+7%
	伸長率(現地通貨)	-13%	-15%	-10%	-8%	-12%	-4%	-4%			
プロジェクター本体販売台数	伸長率	-22%	-22%	-10%	-11%	-17%	+5%	-12%			+0%
	約、万台					130					130

*インク比率：インク売上収益/(本体売上収益＋インク売上収益)

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 第2四半期実績｜販売費及び一般管理費推移

EPSON



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

財務データ(2025年度・2026年度)

EPSON

(億円)

		2025年度 Q1 実績	2025年度 Q2 実績	2025年度 Q3 実績	2025年度 Q4 実績	2025年度 通期 実績	2026年度 Q1 実績	2026年度 Q2 実績	2026年度 Q3	2026年度 Q4	2026年度 通期 予想
為替レート	USD	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69	159.38	159.26			156.00
(円)	EUR	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74	185.33	183.29			179.00
プレシジョンイノベーション	売上収益	403	408	425	439	1,675	498	511			2,030
	セグメント利益	96	112	112	120	440	155	168			610
インダストリアル&ロボティクス	売上収益	696	738	778	767	2,978	820	829			3,270
	セグメント利益	38	46	79	39	202	55	140			300
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,488	1,675	1,894	1,869	6,925	1,670	1,715			7,000
	セグメント利益	146	120	169	177	612	114	191			540
ビジュアル&ライフスタイル	売上収益	627	632	645	605	2,509	672	674			2,740
	セグメント利益	60	57	42	10	169	42	99			220
調整額	売上収益	-5	13	22	15	45	12	9			60
全社費用・その他・セグメント間消去	セグメント利益	-143	-158	-138	-147	-586	-145	-148			-620
	売上収益	3,209	3,465	3,765	3,694	14,133	3,672	3,739			15,100
	事業利益	198	177	264	200	838	221	450			1,050
連結合計	ROS	6.2%	5.1%	7.0%	5.4%	5.9%	6.0%	12.0%			7.0%
研究開発費	連結合計	113	118	116	121	468	117	123			460
設備投資	プレシジョンイノベーション	29	42	34	40	144	27	47			330
	インダストリアル&ロボティクス	19	32	25	50	125	15	22			100
	オフィス・ホームプリンティング	48	45	70	117	281	68	48			240
	ビジュアル&ライフスタイル	17	21	22	36	95	22	25			100
	全社費用・その他	47	9	17	27	100	17	23			80
	連結合計	159	149	167	270	745	150	166			850
減価償却費及び償却費	プレシジョンイノベーション	42	43	44	43	172	46	46			190
	インダストリアル&ロボティクス	41	41	41	42	165	41	40			160
	オフィス・ホームプリンティング	59	61	60	60	240	59	59			230
	ビジュアル&ライフスタイル	27	27	28	29	111	29	29			110
	全社費用・その他	21	22	22	22	87	22	22			90
	連結合計	190	194	195	197	775	196	196			780
営業CF		32	210	379	503	1,124	199	491			1,400
FCF		-189	63	284	310	468	41	318			750
ROIC(%)						5.5%					6.8%

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

地域別売上収益・従業員数

EPSON

地域別売上収益

売上収益(億円)	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	FY26/Q1	FY26/Q2	FY26/Q3	FY26/Q4
日本	520	544	610	586	544	579	626	571	567	570		
米州	1,146	1,066	1,066	1,115	1,088	1,116	1,170	1,207	1,257	1,240		
欧州・中東・アフリカ	680	748	781	781	640	748	880	867	744	769		
アジア・オセアニア	1,021	1,018	1,039	909	937	1,022	1,090	1,049	1,104	1,159		
連結合計	3,366	3,376	3,496	3,391	3,209	3,465	3,765	3,694	3,672	3,739		

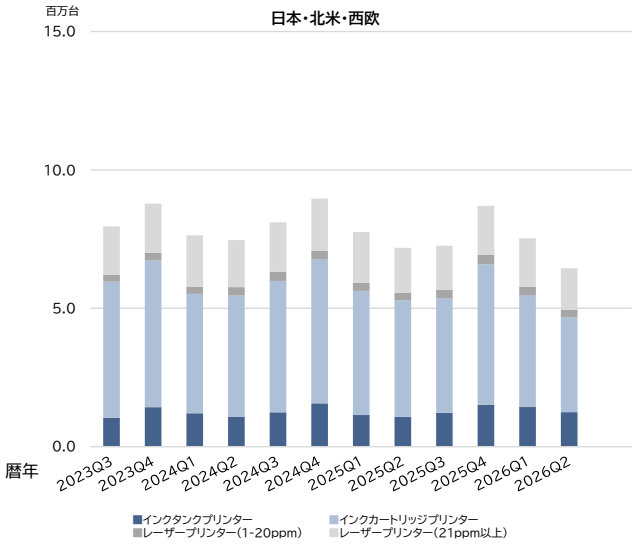
構成比	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	FY26/Q1	FY26/Q2	FY26/Q3	FY26/Q4
日本	15.4%	16.1%	17.4%	17.3%	17.0%	16.7%	16.6%	15.5%	15.4%	15.3%		
米州	34.0%	31.6%	30.5%	32.9%	33.9%	32.2%	31.1%	32.7%	34.2%	33.2%		
欧州・中東・アフリカ	20.2%	22.2%	22.4%	23.0%	19.9%	21.6%	23.4%	23.5%	20.3%	20.6%		
アジア・オセアニア	30.3%	30.2%	29.7%	26.8%	29.2%	29.5%	28.9%	28.4%	30.1%	31.0%		

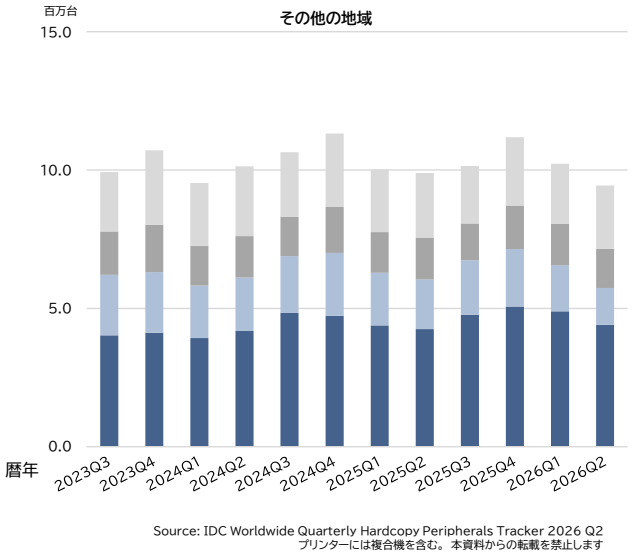
従業員数

期末従業員数(人)	2024/6末	2024/9末	2024/12末	2025/3末	2025/6末	2025/9末	2025/12末	2026/3末	2026/6末	2026/9末	2026/12末	2027/3末
国内	20,702	20,672	20,439	19,924	20,324	20,137	20,008	19,504	19,724	19,593		
海外	56,969	57,889	56,808	55,428	55,308	56,025	55,354	55,115	56,307	57,639		
連結合計	77,671	78,561	77,247	75,352	75,632	76,162	75,362	74,619	76,031	77,232		

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移





Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2026 Q2
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2026年度 ビジネス領域

EPSON

セグメント	プレシジョンイノベーション	インダストリアル&ロボティクス	オフィス・ホームプリンティング	ビジュアル&ライフスタイル
事業・主要製品	**インクジェットソリューションズ**  プリントヘッド **マイクロデバイス** 水晶デバイス  タイミングデバイス　センシングデバイス 半導体  **エプソンアトミックス**  微細合金粉末	**商業・産業プリンティング** 完成品  フォト　コーポレート  サイネージ　ラベルプリンター  テキスタイル　ラベル印刷機 Fiery　商業・産業その他  小型プリンター　SIDM　PaperLab **ロボティクス**  スカラ　6軸　ソフト・オプション	**オフィス・ホームIJP** SOHO・ホーム  大容量インクタンクモデル　インクカートリッジモデル オフィス共有  高速ラインインクジェット複合機（LIJ）　大容量インクパックモデル（RIPS）　オフィス向けインクカートリッジモデル **オフィス・ホームその他**  メキャナー　小型ラベルプリンター	**ビジュアルプロダクツ**  高光束　超短焦点  スタンダード　ホーム・スマート **ウエアラブルプロダクツ**  Orient Star　Orient　ムーブメント　セイコービジネス **PC**  エプソンダイレクトPC

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

社外からの評価（2026年11月5日現在）

EPSON

https://corporate.epson/ja/sustainability/evaluation/

ESG インデックス 組み入れ・格付け

- FTSE4Good Index Series
- **FTSE JPX Blossom Japan Index**
- **FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index**
- **MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数**
- **MSCI日本株女性活躍指数（WIN）**
- **S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数**
- **Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index**
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「プライム」
- CDP企業調査2025「Aリスト」企業（分野：水セキュリティ）
- 日本政策投資銀行（DBJ）環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」

GPIFが採用する ESG国内指数6件全てに選定

FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

ESG 関連表彰・銘柄選定 など

- 海外主力工場でRBA*1監査の最高位プラチナ認証取得（インドネシア、タイ、中国、フィリピン）
- IAM「2025 アジア知財エリート（The 2025 Asia IP Elite）」：2025年11月
- 「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2026」：2026年1月
- 第34回地球環境大賞「経済産業大臣賞」：2026年3月
- 「健康経営優良法人（ホワイト500）」*2 ：2026年3月
- 令和8年度全国発明表彰「WIPO賞」：2026年6月
- 日経225 ：2017年から選定

*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

*2 健康経営の目的・体制 https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

参考Webサイト

EPSON

投資家情報



- IRライブラリ　https://corporate.epson/ja/investors/publications/
  - ✓ 経営・事業戦略説明会　https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html
  - ✓ 統合レポート　https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html
- 5分で分かるエプソン　https://corporate.epson/ja/investors/overview/
- 株主還元　https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html

---

- パーパス　https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/
- 長期ビジョン　https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/

サステナビリティ



- サステナビリティ経営　https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/
- 環境　https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/
- 人材　https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/
- ESGデータ　https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/

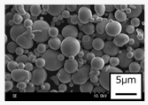
© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

EPSON

独自製法による金属粉末・金属射出成形品と、水晶デバイス用人工水晶原石を製造

金属粉末事業

- 高機能金属粉末の製造
- 独自のアトマイズ製法により、超微細粉末の大量生産が可能



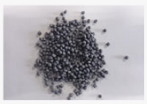
金属粉末


自動車の電装部品原材料


SMD インダクタ

金属射出成形事業

- 自社の金属粉末で、複雑形状や高密度の部品を製造
- 原料の金属粉末製造から金属射出成形までの一貫体制


成形用ペレット


プリンター部品


歯列矯正部品

人工水晶事業

- 高品質人工水晶原石を製造


人工水晶



タイミングデバイス




本社：青森県八戸市大字河原木字海岸


北インター事業所：青森県八戸市北インター工業団地


北インター第二事業所：青森県八戸市北インター工業団地

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

説明資料における表記・定義

EPSON

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター（複合機含む）
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル（RIPS）、高速ラインインクジェット（LIJ）の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
MEMS	Micro Electro Mechanical Systems。一つのシリコン基板、ガラス基板、有機材料などの上に、サブミクロンレベルの精度で機械要素部品やセンサー、アクチュエーター、電子回路などを集積化する技術
産業領域	インクジェットソリューションズ、マイクロデバイス、エプソンアトミックス、ロボティクス、商業・産業プリンティングを含む事業領域

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

EPSON

将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
  実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
  なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
  連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位の一桁下位を四捨五入
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026


EPSON